



経験が気づきに

◇二児のパパとして育児休業を

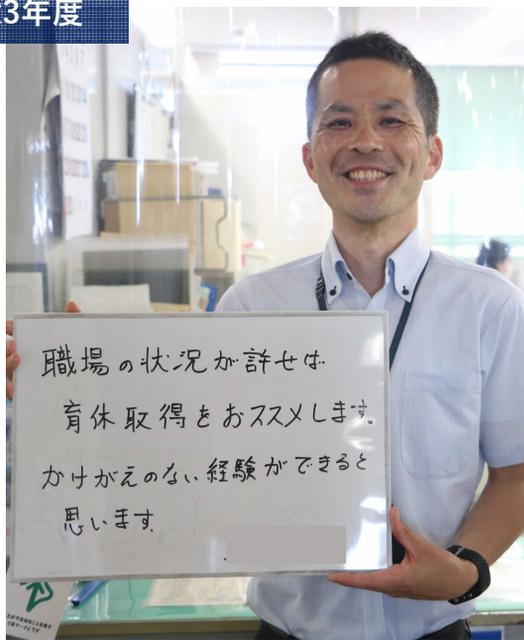
取得した感想を聞いてみました。

「育児休業を取得しようと思ったきっかけがあれば教えてください。」

第一子は里帰り出産だったので、育児は取得しませんでした。今回はコロナ禍で帰省ができず、長女の世話や両親が遠方に住んでいることもあり、育児の取得を決めました。

「職場にはいつ頃相談しましたか？」

出産予定日の二、三ヶ月ほど前から相談していました。まず課長に相談し、職場の皆さんには個々に伝えました。



中野駅周辺まちづくり課 中野駅周辺まちづくり担当係長
令和2年10月～令和2年11月まで育休取得

職場のみなさんに感謝

「職場の反応はいかがでしたか？」

分かりましたと受け入れて下さりとてもありがたかったです。業務の引き継ぎに関しては、優先順位を決めて進めるよう課長から指示がありました。

「家族の反応はいかがでしたか？」

妻はそばにいてくれて安心したと言ってくれました。コロナ禍ということもあり、ワオオペ育児に不安を抱いていたのだと思います。

「育児取得中の業務への不安はありましたか？」

担当業務を複数抱えていることもあり、一ヶ月いなくなることに不安がありました。実際は、育児中の一ヶ月の間は数回電話がかかってきたくらいでした。職場の皆さんにはご迷惑をかけたかと思いましたがとても感謝しています。

「収入面の不安はありませんでしたか？」

同年代で取得した人の話を聞くと、極端に減るわけではないとのことだったので、不安には感じませんでした。

「職場の負担を軽減するために行ったことはありますか？」

業務の可視化を行いました。具体的には、自分の仕事をリストアップし、その中で特に進めてもらいたい業務を抽出しました。また、チームの業務の可視化や、共有することで仕事の抱え込みを避けることにつながられたと思います。

共感の大切さ

「取得してみて良かったことはありますか？」

良かったことは二点あります。一点目は、育休を通して妻の気持ちに共感できるようになったことです。育児には仕事とは違う大変さがあり、経験しないと気づけなかったことが沢山あると思います。二点目は、仕事の進め方にも変化が生まれたことです。育児の取得にあたって業務の可視化と共有を行いました。取得後もチームで積極的に行うようになりました。

「育児取得対象の男性職員にメッセージをお願いします。」

仕事の状況もあると思いますが、可能であれば是非取得してほしいと思います。子育てを通じてかけがえのない経験ができると思います。

職員課からお知らせ

ご存じですか？職員の男性育休取得率は〇〇%！

令和2年度の中野区の男性職員育休取得率（1ヶ月以上）は**28.6%**でした。取得率は年々上昇しており、令和7年までに取得率45%以上を目標としています。

また、区では出産支援休暇や育児参加休暇など、男性職員が取得できる育児関連休暇も整っています。